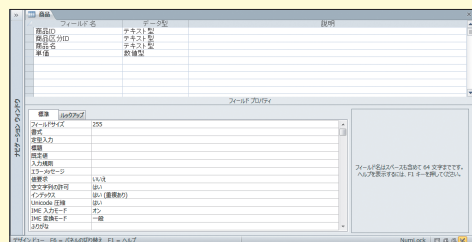


Section 13

デザインビューで
テーブルを作成する

テーブルは、**デザインビュー**を利用して作成することもできます。デザインビューでは、**フィールド名**と**データ型**、説明を設定してテーブルを作成します。説明は省略することもできます。

- **デザインビューの利用** デザインビューを利用してテーブル「商品」を作成します。

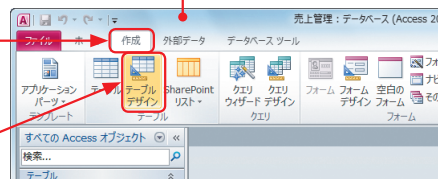


1 デザインビューでテーブルを作成する

- 1 「売上管理」データベースファイルを開きます (P.31参照)。

- 2 <作成>タブをクリックして、

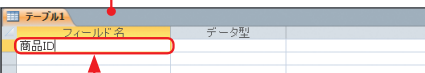
- 3 <テーブルデザイン>ボタンをクリックします。



フィールド名の規則

フィールド名には、スペースを含めて64文字まで入力できます。

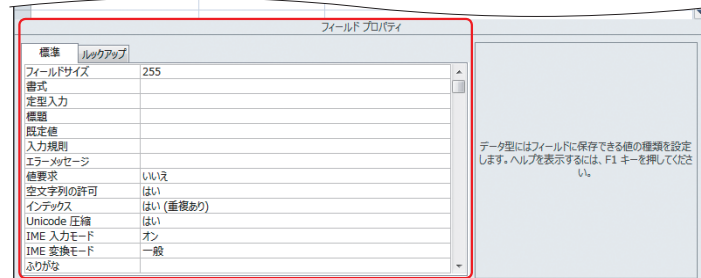
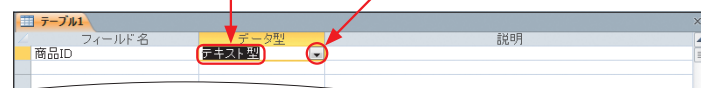
- 4 テーブルが作成され、デザインビューで表示されます。



- 5 フィールド名を入力し、**[Tab]**キーを押すと、

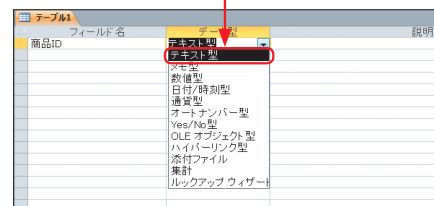
- 6 <データ型>にカーソルが移動します。

- 7 このボタンをクリックして、

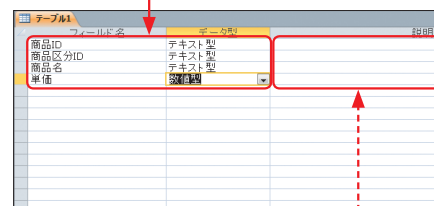


右のKeyword参照。

- 8 データ型をクリックします。



- 9 その他のフィールド名、データ型についても同じ手順で設定します。



右のMemo参照。

Keyword

フィールドプロパティ

フィールドの「属性」のことで、データ型によって、表示される項目は異なります。入力するデータのサイズや書式などを設定できます。

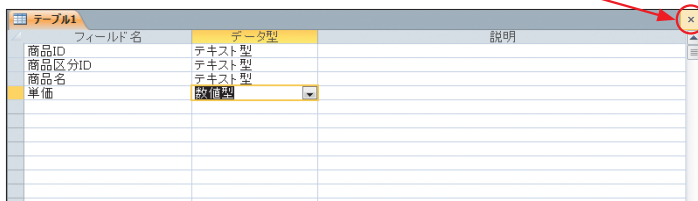
Memo

説明の入力

<説明>には、フィールドの簡単な説明を入力します。入力した内容は、データシートビューやフォームで、そのフィールドにカーソルを移動したときに、ステータスバーに表示されます。説明は省略してもかまいません。

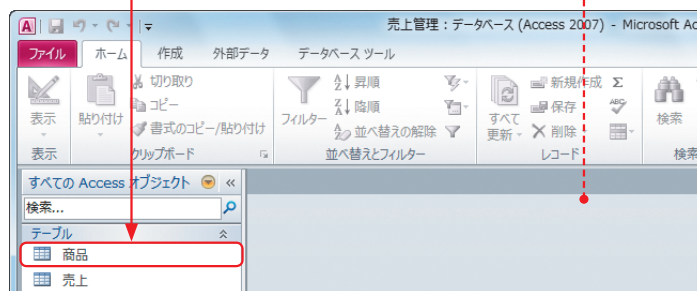
2 テーブルを保存して閉じる

1 設定が終わったら、このボタンをクリックします。



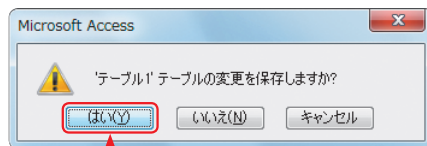
6 作成したテーブルが保存されます。

保存と同時にテーブルが閉じます。



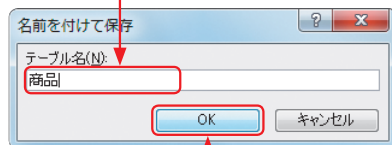
主キーとは？

「主キー」とは、テーブルの各レコードを識別するための目印のことです。右の手順 5 では主キーを後で設定するために、<はいえ>ボタンをクリックしています。

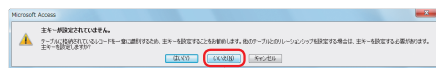


2 <はい>ボタンをクリックして、

3 テーブル名を入力し、



4 <OK>ボタンをクリックして、



5 ここでは<はいえ>ボタンをクリックします (左上のHint参照)。



主キーを自動的に設定するには？

右の手順 5 で<はい>ボタンをクリックすると、データ型がオートナンバー型のフィールドに対して主キーが自動的に設定されます。オートナンバー型のフィールドがない場合には、「ID」というオートナンバー型のフィールドが新規に追加されます。



データ型の種類

データ型には、次のようなものがあります。データ型によって、フィールドに格納できるデータの種類や使用できる書式が異なります。

データ型	内 容
テキスト型	「氏名」「商品名」などの文字列や、「郵便番号」のように計算対象とならない数値に利用します。データのサイズは半角で255文字までです。
メモ型	255文字を越える長い文字列の格納に利用します。
数値型	「数量」「在庫」などの数値の格納に利用します。
日付／時刻型	「日付」「時刻」などの格納に利用します。
通貨型	「単価」などの金額の格納に利用します。
オートナンバー型	「ID」などの数値を自動的に連番で格納します。このフィールドには、通常、主キーを設定します。
Yes／No型	「配偶者有無」などの二者択一に利用します。
OLE オブジェクト型	画像ファイルやExcelワークシート、Word文書などの格納に利用します。
ハイパーリンク型	テキストまたはテキストとして格納される数値の組み合わせで、ハイパーリンクアドレスとして使用します。
添付ファイル型	イメージ、ワークシート、グラフなどのファイルを添付できます。
集計	計算結果を格納します。計算は同じテーブル内の他のフィールドを参照する必要があります。
ルックアップウィザード	テーブルやクエリから取得された値や、フィールドの作成時に指定した値を表示します。